

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 4



平成25年5月13日 文責 高尾久美子

教育センター研究委員委嘱交付式及び 第1回研究委員会・富士山学習研究会

4月30日(火)「平成25年度教育センター研究委員委嘱交付式」を行いました。町内小中学校12校から1名ずつ、梶原正孝教育長より委嘱状が交付されました。同日に第1回研究委員会を行いました。教育センターの役割やこれまでの経過、これからの事業について研究委員の皆様と確認しました。今年度は、新船津小学校の原田孝雄先生、小立小学校の小山博史先生、河口湖湖南中学校の坂本幸雄先生には、特別研究委員と円滑に事業が進められるよう御協力していただきます。



「富士山学習はいつやるの?」「今でしょう!」

委嘱状交付式、研究委員会の後、第1回富士山学習研究会を行いました。アドバイザーとして環境科学研究所の先生方に来ていただき、「富士山学習支援事業」について分かりやすくお話していただきました。環境科学研究所では、子どもたちのために「富士山学習実施プログラム」を提供してまいります。内容は、各学校で話し合っただけで決められません。どの学年でも適用できる内容となっていますのでぜひ、御活用ください。

この会での教育長のあいさつに、「学校教育が画一化になっていないか、もう一度考えてもらいたい。特に本町の学校教育の目標である「富士山学習の充実」では、富士山にかかわることを理学的、社会的、芸術や文化的側面などさまざまな切り口から学習素材として考え、富士山学習の視野を広げていってほしい。」というお言葉を頂きました。富士山が世界文化遺産に登録される今、子どもたちが富士山の素晴らしさを意識し誇りをもてるのが大切だと思います。

教育センターでは、研究委員の先生方と協力し富士山学習がよりいっそう充実できるようにこれからも頑張っていきたいと思っております。

富士河口湖町 保・小・中連携協議会

4月15日(月)第1回「富士河口湖町保小中連携協議会」を開きました。

この名のおり、富士河口湖町にある保育所7所、小学校8校、中学校4校の園長先生、校長先生方と梶原教育長・松浦福祉推進課長・小林学校教育課長にお集まり話し合いをもちました。



保・小・中とが連携をとり、実践や研修を深め理解していくためにまずは、このような話し合いの場をもつことが必要です。この日は、各校区で話し合い、より具体的に何をすべきか確認ができ、有意義な時間となりました。